



バス運転士の仕事って？

バス運転士の1日

A day as a Bus Driver



バス運転士といっても運転するだけではありません。ある1日の様子をご紹介します。

1



アルコールチェック

体内のアルコール残量を測定できる機械で検査。法令上では0.15mg/ℓ以内であればOKですが、当社規定は0.00mg/ℓ。プロドライバーとしての誇りがここにあります。

2



運行前点検

当日乗務する車両には運転士自らが運行前点検を行います。タイヤ、オイル、エンジン始動、ワンマン機器の動作確認やミラー確認など60項目の点検を行います。

3



点呼(始業)・健康状態の確認

運行管理者に車両点検用紙を提出し、運行カードを受け取ります。当日の天候、道路状況や運行上必要な指示や注意を受け始業点呼を行います。健康状態や服用している薬の確認なども行います。

4



運行開始

どんなにベテランでも運行開始は緊張するもの。安全かつお客様への目配り、気配り、心配りを怠ることなく、快適な車内環境をつくり上げるのもプロドライバーとしての大切な仕事です。

5



点呼(中間)&休憩

一日の拘束時間や乗務時間は法律で厳しく規制されており、休憩することも大切な仕事です。1便1便の運行を終え、待機時間はしっかりと休憩し次の運行に備えることが重要です。

6



運行再開

十分な休憩をとった後、再び運行を開始します。必要に応じて車両が変わる場合もあるので、常に確認を怠りません。

7



運行中の車内での接客

運行中、降車時の御礼や安全確認の車内アナウンスはもちろん、車いすの対応やお客からのお問い合わせにも対応します。誠実で丁寧な受け答えはお客様に安心感を与えます。

8



点呼(終業)

運行終了後、車内を見回り忘れ物などの確認と車庫に戻り給油・洗車を行います。一日の運行記録を確認して運行管理者に運行状況と車両状況を報告し、業務は終了します。

お疲れ様でした



Point!

労働時間のわかりやすさが“売り”の職業

当社のシフトは4勤1休制で、1カ月に6~8日の休日があります。シフト制といっても勤務日数が一定で無理なく働けます。運転士のシフトはおよそ1カ月前に決まり、スケジュールも日によって確定しているため、終業時間も明確(残業ほぼゼロ!※)。プライベートの予定や休暇などを決めやすく、とても働きやすい職業です。

※交通状況によっては終業時間が遅れます。

スケジュールの一例



1日の乗務時間や勤務時間が法律によって定められており、休憩もしっかりとります。

